



花さき山



タイトル文字：滝平二郎

フックスタートクラブ

～毎週水曜日は視聴覚室開放 day♪～

☆幼児向けおはなし会

3月 7日、14日、28日⇒10:00～

3月 21日 ⇒視聴覚室開放のみ

音読会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：3月6日（火）

11:00～12:00

気軽に発声練習してみませんか？

もちろんお子さんも参加できます☆

2月、3月のテーマは、

『松尾芭蕉』！

小学生1日図書館体験

場所：明野図書館

日時：親子体験 3月25日（日）

小学4年生以上 3月29日（木）

（※各日、13:00～16:00、2名ずつ）

対象：小学生

3月3日（土）より

明野図書館 カウンターにて受付！

ぬいぐるみハント

～ぬいぐるみたちをみつけられるかな？～

場所：明野図書館

対象：0歳～12歳の

図書館利用カードを持っている方

期間：3月6日（火）～4月1日（日）

受付：期間中に明野図書館 カウンターまで

来てね(^_^)/

3月のおはなし会

《図書館スタッフ》（児童室）

いつ：3月3日（土）

時間→11:00～11:30

《「やまびこ」さん》（児童室）

いつ：3月18日（日）

時間→11:00～11:30

3月は大人向け映画会

種まく旅人

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：3月24日（土）10:00～

内容：「種まく旅人～くにうみの郷～」

（上映時間：111分）

お申込不要です。無料でご覧いただけます。

図書館サポーター募集！

H30年度の図書館サポーター（ボランティア）を募集します。

私たちと一緒に図書館をさらに活性化させませんか？

作業内容は、イベントの準備やおはなし会、本の修理やガーデニングなどです。興味のある方はぜひ！

時間もご都合に合わせて決められます(*^^)v

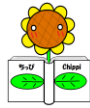
まずは、3月の説明会にお越しください(*^_^*)

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：3月30日（金）・31日（土）11:00～12:00

対象：高校生以上

申込：不要。当日直接、明野図書館にお越しください。



関城地方の文化の継承太々神楽・新そばまつり

大和田 清

神楽舞は関本神社に伝わる神楽で、江戸時代享保年間(1720年)から続く太々神楽3月3日・11月23日に演舞される。高千穂系神楽で県内では、貴重なものであると伝えられている。昨年も恒例日の平成29年11月23日におこなわれた。正しくは、代々神楽と云われて、世々相継ぎ絶えることなく永遠に奉納されると云う意味である。そば生産高では、筑西市関城地区が県内では、第一位と云われている。地元産の新そばの活用で町おこし事業の企画をNPO法人梨想の会が提案し、JA北つくば・そば生産組合からそば粉の無料提供と地元協力者の協賛を戴き、新そばの試食会・そば打ち名人の実演・そばゆで等のアドバイスを受け、甘酒・そば茶等の無料提供で、太々神楽の祭日に新そば300食は完売した。当日は午前中雨天の中、多数の人が訪れた。こんなに賑わったのは30年~40年ぶりの声も聞こえた。今回初めて神楽舞に解説を入れ、訪れた皆さんからも解りやすく観賞できたと好評であった。

関本神社の由来は、明治6年関本村内に残る稲荷神社が4社あった。鹿島神社・若宮神社・明神神社・郡神社を合祀して、関本神社として改めた。本殿東側には、郷土が生んだ衆議院議員浜名信平翁の尽力で明治27年8月建立された関城梨の由来を刻んだ彰功之碑がある。神社の入り口にそびえ立つ大樺は市の天然記念物として、樹齢400年以上玉杓の模様現れる老木である。その中央の鳥居は神明鳥居の特徴を生かした堂々とした風格が見受けられる。(現在、関本神社宮司以下保存会で神楽舞は春秋大祭に奉奏される。)

神楽舞は八座から成り、その構成は次のようである。

- 奉幣式** 神楽を行う者すべてが参加し、神前に神楽奉奏の旨を上奏し、奉幣の式を執り行い、大玉串をご本殿に納める。第一座から第八座までの舞いを披露する。
- 第一座** 五行の舞。日本が誕生した高天原での五柱の神に基づき、青・桃・白・赤の順で登場して優雅に舞う。
- 第二座** 那岐、那美の舞。イザナギ、イザナミの陰陽二柱の神は国土生成と多くの神々、榊・鈴・鏡を手にして舞う。
- 第三座** 猿田彦の舞。天狗の舞とも云われ、天孫降臨に際して、手にした鉾を自在に操り勇壮に舞う。
- 第四座** 翁の舞。天児屋命と称する神で、天照大神の岩戸隠れの際に岩戸開きに奉仕天孫降臨に神主の先祖と称される。刀を自在に使い四方固めて舞う。
- 第五座** 八幡舞。誉田別名(応神天皇)別名で、全国の八幡神社の祀られている武人であり、弓と矢を手にして、勇壮に舞う。
- 第六座** 蛭子の舞。水に深い関係を持つ神として恵比寿と結び付けられる。笑顔を絶やさず釣りを生業とし釣り竿を手にし、餅をえさとして、見事な鯛を釣りあげる。
- 第七座** 連れ舞。稲荷舞とも呼ばれ、男狐、女狐が連れ添って楽しく土を耕したところに、女狐が種を播く。ともに合い連れてたった所作で五穀豊穰を祈って舞う。
- 第八座** 岩戸開きの舞。天照大神がお隠れになった天岩戸を開こうと天手力雄命によって岩戸開きがなされる。この世に明るさが戻り、餅を播いて喜びを称える。

おおわだ きよし/梨想の会会員・郷土史家